

A close-up photograph of two young children, likely of Cambodian descent, smiling and clapping their hands. They are wearing light-colored shirts. The child on the right has dark hair and is looking directly at the camera. The child on the left is slightly behind and to the left, also smiling and clapping.

ピースボート 地雷廃絶キャンペーンP-MAC 2009年度活動報告書

はじめに

ピースボート地雷廃絶キャンペーンP-MACの活動にご協力いただきまして、ありがとうございます。

1998年、ピースボートはカンボジアを訪れました。当時、世界中の国々で地雷問題は危機的状況を迎え、「20分に1人」世界のどこかで地雷被害者が出ていました。中でも私たちが訪れたカンボジアは、もっとも地雷問題が深刻な国の1つ。町には手足を失った人々が行き交い、物乞いする人も多く見かけられました。医療設備の整っていない病院には、次々と被害者が運び込まれていました。そして地雷原で、命がけの地雷除去作業を行う人々にも出会いました。私たちは手足を失いながらも必死に生きようとする人々、安全な土地を取り戻そうと働く人々を支援し、地雷そのものに反対するためピースボート地雷廃絶キャンペーンP-MACを立ち上げ、活動を開始しました。

2009年度、P-MACは地雷除去募金「カンボジアから地雷をなくそう100円キャンペーン」を中心に活動を行いました。このキャンペーンでは私たちが行う街頭募金だけでなく、多くの個人の方々、そして学校などの団体から多数の支援をいただきました。集まった募金は現地地雷除去機関「CMAC(カンボジア地雷対策センター)」に受け渡し、カンボジア北部プレアヴィヘア州コーケー村で地雷除去が行われました。また2010年にはその土地への保健所建設が終了しています。

カンボジアでは1991年の和平合意後多くの地雷が残されたままになり、人々は地雷被害と隣り合わせの生活を強いられ、戦後復興の妨げともなっています。P-MACでは地雷やクラスター爆弾、そして戦争のない世界をめざして活動を続けていきます。

今後ともご協力をよろしくお願ひいたします。

※P-MACでは、これまで1月から12までの年次報告書をお送りしていましたが、2009年より4月から3月までの年度報告をお送りいたします。そのため、本年度のみカレンダーは2009年1月から2010年3月までを掲載しています。



活動カレンダー

2009年度P-MAC

2009 **1** • 100円キャンペーン街頭募金9回実施
• 第64回地球一周クルーズでカンボジア地雷問題検証ツアー実施

2 • 東京都狛江市・第三中学校で地雷教室開催
• 岐阜県多治見市・泉中学校で地雷教室開催
• 東京都文京区・明化小学校で地雷教室開催

3 • 神奈川県横浜市・霧が丘中学校で地雷教室開催

4 • 「SPRING LOVE～春風～」でブース出展(東京)
• コーケー村地雷除去開始(カンボジア)
• 第66回地球一周クルーズでカンボジア地雷問題検証ツアー実施

5 • 100円キャンペーン街頭募金10回実施

6 • 100円キャンペーン街頭募金23回実施
• 千葉県千葉市・千葉大学で地雷教室開催

7 • 100円キャンペーン街頭募金26回実施
• 山口県下関市・コープ山口で地雷教室開催

8 • 100円キャンペーン街頭募金13回実施
• 香川県善通寺市・東中学校で地雷教室開催
• ピースボート船内見学会で地雷教室開催
• コーケー村地雷除去終了(カンボジア)

9 • 100円キャンペーン街頭募金5回実施
• 「よこはま国際フェスタ2009」でブース出展(横浜)
• 第67回地球一周クルーズでカンボジア地雷問題検証ツアー実施

10 • 100円キャンペーン街頭募金13回実施
• 「グローバルフェスタJAPAN2009」でブース出展(東京)
• バンド「メロメ」主催、P-MAC協力によるライブ開催(山形)

11 • 100円キャンペーン街頭募金24回実施

12 • 100円キャンペーン街頭募金28回実施
• 山梨県昭和町・常永小学校で地雷教室開催
• 神奈川県寒川町・旭が丘中学校で地雷教室開催
• Harmony Music Society主催
P-MAC協力によるチャリティークリスマスコンサート開催
• ピースボート船内見学会で地雷教室開催

2010 **1** • 100円キャンペーン街頭募金1回実施
• 東京都福生市・第五中学校で地雷教室開催
• 大阪府東大阪市・孔舎衙小学校で地雷教室開催
• 第68回地球一周クルーズでカンボジア地雷問題検証ツアー実施

2 • 100円キャンペーン街頭募金1回実施
• 群馬県高崎市・高松中学校で地雷教室開催
• 東京都狛江市・第三中学校で地雷教室開催
• 兵庫県神戸市・広陵中学校で地雷教室開催
• カフェ「カフェスロー」で写真展示(東京)

3 • 東京都国分寺市・第十小学校で地雷教室開催
• 神奈川県寒川町・旭が丘中学校で地雷教室開催



100円キャンペーン

カンボジアから地雷をなくそう100円キャンペーン

これまでの支援報告

地雷除去には気の遠くなるような時間と労力がかかります。しかし、地雷除去にかかるコストは1平方メートルあたり約100円。そこでP-MACでは、街頭募金「カンボジアから地雷をなくそう100円キャンペーン」を展開。集まった募金は現地地雷除去団体「CMAC(カンボジア地雷対策センター)」に送り、主に学校や保健所のための地雷除去が行われました。

2009年度は、合計3,801,880円を100円キャンペーンで集めることができました。

皆様、ご協力ありがとうございました。

2009年度 100円キャンペーン募金報告

2009年度の募金総額
¥3,801,880

[上記の募金は以下のプロジェクトに使用しました]

コーダー村小学校のための地雷除去 (※1)	¥ 657,216
コーダー村保健所建設 (※2)	¥ 2,084,141
スラヨンチュング村地雷除去 (※3)	¥ 1,060,523
合計	¥ 3,801,880

(※1) コーダー村小学校のための地雷除去プロジェクト予算の総額4,076,234円の内657,216円を2009年度募金より支援 / 2009年8月終了

(※2) 2010年7月終了

(※3) スラヨンチュング村地雷除去プロジェクト予算の総額1,403,385円の内1,060,523円を2009年度募金より支援 / 2010年9月終了

1998年から2010年3月までの支援実績



- a ポーサット州ブテア・ルング村小学校 … 地雷除去と学校建設
- b ポーサット州ストエン・トメイ村小学校 … 地雷除去
- c ポーサット州チュンカ・チュレイ・チュング村保健所 … 地雷除去
- d バンテアイムチエ州オサンポール村小学校 … 地雷除去と学校建設
- e プレアヴィヘア州コーダー村小学校 … 地雷除去と学校建設
プレアヴィヘア州コーダー遺跡 … 地雷除去
プレアヴィヘア州コーダー村保健所 … 地雷除去と保健所建設
- f シュムリアップ州クワオ地区小学校2校 … 地雷除去

以上の支援により100万平方メートル以上の土地から、208個の地雷と340個の不発弾が除去されました。



100円キャンペーン

100円キャンペーンには全国の多くの学校や様々な団体の方にもご協力いただいています。そんなご協力いただいた団体の中から3つの取り組みをご紹介します。

小学校6年生の社会科では世界の環境と平和について学びますが、教科書には地雷のことば詳しく記載されていません。私も詳しくは知らなかったため調べてみると、その埋設数や被害の悲惨さ、除去の難しさに驚くばかりでした。そして同じ地球に住む仲間として同じ世代の子どもたちが地雷被害に遭っていることを知らせなければと思い「なんだろう地雷出前教室」をお願いしました。子どもたちは地雷の非人道性、被害の悲惨さに驚きと憤りを感じ、自分たちにできることを考えました。100円で1m²の範囲の地雷除去ができると知り、家の方にも呼びかけて進んで募金してくれました。

世界では日本の子どもたちが楽しく遊んでいる瞬間にも地雷被害に遭っている子どもたちがいます。環境も平和も自分の国の事だけを考えていたら解説不可能です。これをきっかけに今後も世界に目を向けて地球の仲間と手を携えて課題に向かっていける人間に成長していってほしいです。

国分寺市立第十小学校
2009年度6年担任 吉岡めぐみ

キャンペーンを知りチャリティコンサートをすることにしました。

始めは皆さんから全く関心を持っていただけず気落ちすることもありました。それでも当日は席が無くなる状態で、演奏家も観客も一体になり音楽を楽しみました。同時にカンボジアの様子もお話ししていただき、募金をお届けすることができました。これからも音楽と共に募金へのご協力ができるよう頑張りたいと思います。

Harmony Music Society 石川秋子

私たちは山形県で「メロメ」というグループ名でバンド活動をしています。2009年秋のイベントで、演奏時に地雷の現実を写した写真をスクリーンに流しました。それをきっかけに2010年1月より「MEROProject～MERO&Peace～」と題した地雷廃絶運動を始め、LIVEやグッズ販売、募金箱の設置で100円キャンペーンに協力しました。様々な賛同者、企業様のご協力もあり、多くの方にROCKと共に世界平和を訴えることができました。

私たちは音楽でカンボジアの子供たちの明日が少しでも希望のあるものとなるならと思いチャリティ活動をしています。私たちのグッズを持っている人を見ていると私たちが蒔いた種がちゃんと宿っていると感じます。戦争という歴史は語り継いでいくべきものだと思いますが、その傷を子供たちへ残してはいけない。子供たちの未来は明るくあるべきです。田舎のちっぽけなバンドだからこそ世界へ目を向けROCKと共に「LOVE & PEACE」を歌っていきます。音楽に国境はないですから。

メロメ BANDmaster Dr 暁

私は、30年以上ピアノ教師をしていますが、演奏家となった生徒に演奏の場を与えると毎年コンサートを開催しています。2009年のコンサートを計画をしていたころ、インドネシアの孤児院で働く方と出会い、私はハッと目覚める思いがしました。私は自分の生徒の事しか考えられなかったけど、世界には食事も摂れずに亡くなる子供や、歩く道さえ危険と隣り合わせに生きている子供がいることを知り、「何か役に立つことをしたい」と考えた時、100円

カンボジア地雷問題検証ツアー2010を行いました

これまでP-MACの活動を支援してくださった方々にカンボジアの地雷問題をより詳しく知っていたらしく、2010年3月に現地を訪れるツアーを行いました。今回のツアーに参加してくださったのは13名。10代から70代までの幅広い年齢層の方々に参加いただきました。

現地では多くの地雷被害者や地雷除去隊員、地雷原に暮らす人々と交流しました。また支援を続けているコーチー村では子どもたちが歓迎してくれ、地雷除去された土地で子どもたちとサッカーや縄跳びをして遊びました。夜には参加者の方々とカンボジアの抱える様々な問題について話し合う有意義な時間となりました。6日間という短い時間でしたが多くのカンボジアの人々と直接話すことで、これから自分自身ができる支援について考えていただききっかけとなりました。

※ピースボート「地球一周の船旅」でもカンボジアの地雷問題についてのツアーを行っています。詳細をご希望の方はピースボートまでご連絡ください。

ツアー日程

- 3月11日 • 空路、成田国際空港からカンボジア・プノンペンへ
- 3月12日 • ツールスレーン博物館・キリングフィールド見学
• 義足支援NGOカンボジアトラスト訪問
• 障がい者支援NGOカンボジアン・ハンディクラフト・アソシエーション訪問
- 3月13日 • ICBLユース大使ソン・コサルのレクチャー
• プノンペンからシェムリアップへ陸路移動
- 3月14日 • 地雷被害者支援NGO
アンコール障がい者協会訪問
• CMACで地雷問題レクチャーと地雷博物館見学
- 3月15日 • 地雷除去現場と爆破処理見学
• P-MACが地雷除去支援をおこなう
コーチー小学校訪問
- 3月16日 • アンコール遺跡観光
• 空路、シェムリアップ空港から成田国際空港へ



鈴木 康成さん（愛知県・10代）

私たち、同志社大学(京都)・国際居住研サークルの地雷問題を扱うグループでは100円キャンペーンに協力し、約24万円を寄付しました。私はこの募金がカンボジア・コーチー村の地雷除去に使われると思っていたが、実際にコーチー村がどんな場所で、どんな人が住み、募金がどう使われているのかという本質を知らずに募金活動を行っていました。

このツアーでコーチー村に行けるということを知り、参加を決めました。「カンボジア＝危険」という端的なイメージを持ったまま現地を訪れましたが、私を待ってくれたのは人々の笑顔とたくさんの出会いでした。地雷で苦しむ人々の姿やそれに負けず生きようとする姿を見て感動しました。本当に多くの人々とふれ合い、カンボジアに対する印象が大きく変わった的同时に、彼らとまた会いたい、繋がってみたいという気持ちが生まれました。

未知の世界だったカンボジア。それは私を一步成長させてくれた存在となり、また来たいという気持ちを持たせてくれました。今回のツアーで感じたことを日本でも伝えていきたいです。

曾我部 齋士さん（神奈川県・70代）

今回初めてこのようなツアーに参加して、出会った地雷被害者の方たちが実際に明るく生き生きとしていることに心を打たされました。プノンペンからシェムリアップへ車で移動した時、広大な農地が広がっているのを見て、カンボジアが元来、豊かな農業国であることを改めて実感したのと同時に、残された内戦の深刻な影響を感じずにはいられませんでした。

このツアーで最も関心を持っていた、人力による地雷除去処理及び爆破処理現場を見せていただき、カンボジアの抱えている厳しい現状を実感できました。地雷除去作業では酷暑の中、防弾服およびヘルメットを着用して、長時間集中力を維持しながら処理作業をするのは過酷な作業だと感じました。また地雷除去現場の近くの地雷原を歩いている子どもたちを見て、驚いたと同時に地雷回避教育の徹底を強く感じました。

今回、よきスタッフ、個人でカンボジア支援をずっと続けていらっしゃる方、海外ボランティアに関心のある学生グループ、カンボジアに縁のある写真家の方々等と気持ちよくツアーができたことを深く感謝します。ありがとうございました。

ツアー参加者からの感想



P-MACニュース

コーチー村で村人たちが復興に向けて歩み始めています

P-MACが2005年より地雷除去支援を行うプレアヴィヘア州コーチー村は多くの遺跡が残る古都の村です。しかし内戦中は激戦地となり多くの地雷や不発弾が残ったままになっています。人々はこれまで内戦当時とほとんど変わらない貧しい生活を送ってきましたが、P-MAC支援による地雷除去と小学校完成をきっかけに復興の道を歩み始めました。

コーチー村に安全な土地ができる結果、他のNGOなどが識字教育や給食支援、図書館支援を始めています。P-MACでも井戸や子どもたちへの文房具などを支援してきました。そして村人たちも自分たちで協力し合い、給食用の作物を育てたり、雨

期には水浸しとなって通れなくなる道路に橋をつくるなど、できるところから始めています。

ポル・ポト時代にはポル・ポトに反対する言動は厳しく監視され、自分で考える事なく強制的に働かされました。そんな時代を生きてきた村人にとて周囲の人々と協力する、自分たちで考え方を述べることは大きな復興への第一歩となります。P-MACではコーチー村に残る遺跡の地雷除去も支援していますが、村では今後この遺跡への観光にも力を入れ、村人は手作りのお土産をつくったり地元の作物を使ったレストランを開く計画を立てています。

写真パネルが新しくなりました



P-MACでは地雷問題をより深く知つていただこうと写真パネルを作成し貸出を行っています。これまで、多くの学校やイベントなどに貸出を行ひ好評をいただいています。今回このパネルを一新し、地雷被害者や地雷除去をする人々の声を多く取り入れたものとなりました。地雷除去の方法やこれまでの支援先についても詳しく説明しています。下記写真パネルセットを貸出ご希望の方はピースボート(裏面参照)までご連絡ください。

[カンボジア 地雷とたたかう人々]

- 全パネルB3サイズ相当、20/パネル1セット
- 全てに写真説明、カンボジアと地雷問題の解説付きです

貸出料金：5,000円

(別途、往復の送料をご負担ください)

クラスター爆弾禁止条約が2010年8月に発効されました

P-MACでは2002年、アフガニスタンでクラスター爆弾の被害者に出会つたことをきっかけに「クラスター爆弾禁止キャンペーン」を展開してきました。近年、世界中の国々でも同爆弾を廃絶する気運が高まり、NGOと有志国が条約作りを進めました。2008年12月には条約の調印式が行われ、2010年8月1日に条約が発効されました。日本はすでに条約を批准しているため、今後自衛隊が保有するクラスター爆弾を8年以内に廃棄する必要があります。また他国でのクラスター爆弾除去や被害者に対する支援、そして未締約国への条約参加を働きかけることが求められています。

各国の銀行では、クラスター爆弾の生産企業に対する融資禁止の方針を打ち出したところもあります。世界中の市民が各国民政府を動かし、つくられたこの条約により、クラスター爆弾のない世界に向けて動き出しました。



カンボジアから地雷をなくそう!! 100円キャンペーンにご協力ください

郵便振替口座	00130-3-557600
ゆうちょ銀行	019店 / 当座0557600
加入者名	ピースボート地雷廃絶キャンペーンP-MAC

「なんだろう地雷出前教室」 出前先募集中!!

P-MACで活動するスタッフが、地雷問題についてわかりやすく出前授業します。地雷原に暮らす人々、地雷被害者、除去活動をする人々の声、そして今私たちにできることをお伝えします。これまで小学校、大学、地域の公民館、職場など、様々な場所で行っています。ご依頼、ご質問はピースボートまでご連絡ください。

ピースボート地雷廃絶キャンペーンP-MAC 2009年度活動報告書

発行 ピースボート地雷廃絶キャンペーンP-MAC
編集 森田 幸子 (MORITA Sachiko)
発行日 2011年2月
写真 内田 和稔 (UCHIDA Kazutoshi)

[この刊行物に関するお問い合わせは下記までお願いいたします]

ピースボート

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-13-1-B1
TEL 03-3363-7561
FAX 03-3363-7562
E-MAIL pmac@peaceboat.gr.jp
URL http://www.peaceboat.org/project/jirai